

1. 事業の必要性・概要

平成 25 年度は地球温暖化進行の確実性、温暖化影響の正確性及び具体性についての記述の充実が予想される IPCC 第 5 次報告書の公表が始まる年度である。

IPCC の評価報告書は、これまで新たなものが公表される毎に地球温暖化をめぐる国際的な議論に重要な影響を与えてきた経緯もあり、今般の第 5 次評価報告書の公表に際し、今後の国際交渉を我が国がリードするためにも、地球温暖化対策に対して積極的な国内世論の形成が必要不可欠である。

また、平成 25 年はエネルギー・環境会議においてとりまとめる予定の中長期の温暖化対策の具体的方針、さらには、同年内に策定を目指している中長期の政府温暖化対策計画に基づき、気温上昇を 2℃以内にとどめるため、2050 年に世界半減、我が国として 80%削減という世界で共有する長期目標を実現するための対策を本格的に開始する重要な年であり、こうした中長期的な削減に向け、地球温暖化対策への理解の醸成とともに計画の周知徹底が必要である。

温室効果ガス排出量削減のためには、国民が地球温暖化によって社会に生ずる悪影響をリアリティを持って感じ、理解することが重要である。そのため、本やネット、メディア等による情報伝達に加え、人から人への直接説得力を持った語りかけの機会を設けたり、最新の科学的知見を用いた温暖化影響に関する情報を提供し、低炭素社会にふさわしいライフスタイルへの変革と基盤の構築を図ることで、特に CO2 排出量増加が著しい民生部門の排出量削減を図る。

2. 事業計画（業務内容）

特に CO2 排出量増加が激しい民生部門のうち、企業・団体等及び個人に対してリアリティに基づく理解の醸成を図る。企業・団体等には、具体的な行動の促進、働き方の変革、省エネ技術・機器の導入の必要性等をインターネット、メディア等を活用しながら訴えていく。また、地域で温暖化対策に取り組む NPO 等の先進的な活動を広く全国に紹介するなど、地域やコミュニティ発の着実な動きや流れを促進し、足元からの低炭素社会づくりを支援する。個人には、具体的な行動の促進、個人で参加できる取組や身の回りで行うことのできる削減対策の提案等をインターネット、モバイルコンテンツ、メディア等を効果的に活用し、地球温暖化の課題解決に向けた積極的な世論形成を促進する。

3. 施策の効果

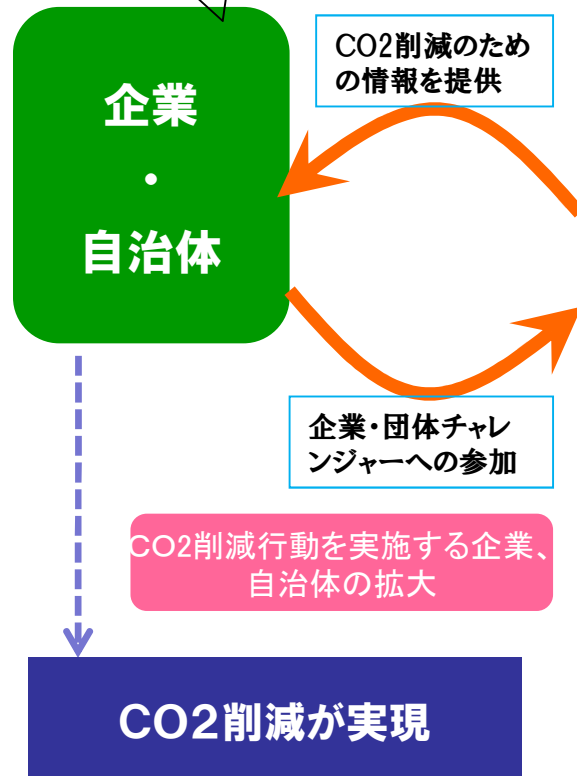
IPCC の第 5 次評価報告書の公表の開始及び中長期の温暖化対策に関する計画の策定といった国際的にも国内的にも重要な節目の年度にあたり、最新の科学的知見に基づき、様々な手段による正確でわかりやすい情報を提供することで、国民の温暖化問題に関する理解を一層推進し、低炭素社会にふさわしいライフスタイルへの変革の定着と基盤の構築を図ることにより、民生部門からの温室効果ガス排出量を削減する。

低炭素型ライフスタイル定着促進事業(企業、地域向け施策) 【低炭素社会づくり推進事業】



- 地球温暖化による影響のリアリティを伝えるため、HP等により、企業向け、地域向け施策を実施し、理解の醸成を図る。さらにHPやイベントなどを通し、地球温暖化防止国民運動に参加する企業・団体チャレンジャーを募集。
- 温室効果ガス削減に向けた具体的な行動や、低炭素社会づくりに向けて優れた取組を行っている企業、自治体等の紹介をHPや各メディアの活用を通し実施。

- ・地球温暖化の影響のリアリティがない
- ・本当にCO2削減が必要なの？
- ・先進的な取組や技術を取り入れたい



低炭素社会づくり推進事業

①企業向け施策

・HP運用、企業チャレンジャー募集



(特設HP)

・先進的な環境技術、取組紹介



- ・スマートムーブ～「移動」を「エコ」に
- ・「移動・交通」に伴うCO2排出量を削減するため、CO2排出の少ない移動へのチャレンジを提案
- ・「環境にいい」だけでなく、「快適・便利」、そして「健康」につながるライフスタイルを「smart move」と名付け、企業・団体、国民に呼びかけ



・オフィスでできる節電7つのポイント

- 1 エアコンで節電! 設定温度・風向きを調節して節電!
- 2 クールビズスタイルで快適に! 勤務の状況にあわせて暑熱に工夫を!
- 3 断熱性を向上 熱の出入りを効果的に抑えて節電!
- 4 照明で節電! 明るさや点灯時間を調節して節電!
- 5 就業の見直し オフィスで新チャレ!
- 6 省エネ機器で節電! 日々進化する省エネ機器で節電!
- 7 省エネ行動で節電! 電気使用は必要最小限に!

②地域向け施策

- ・地域メディアとNPO等の連携支援
- NPO・NGO等の民間団体とメディアが連携し、温暖化防止活動を広く訴求



(草牟田小学校のグリーンカーテン)

- ・地域の温暖化防止活動支援
- 千代田区(大丸有地区)で実施されたコミュニティーサイクル



(キックオフイベントを丸の内オアゾで実施)

- ・見直そうわたしたちの暮らし
- 温暖化による地球への影響や普段の生活での身近な省エネ、実際の取組事例も紹介



低炭素型ライフスタイル定着促進事業(国民一般向け施策)

【CO2削減アクション推進事業】

- 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の評価報告書の内容及び中長期的な温室効果ガス削減に向けた国内対策の必要性を踏まえ、地球温暖化による深刻な影響のリアリティを伝え、ライフスタイル・ワークスタイルの変革を促すような情報提供を図り、温暖化の影響に関する国民の理解を醸成していく。
- クールビズやウォームビズ、朝チャレ！など、個人個人で実施できる温暖化防止活動を推進。

地球温暖化による影響のリアリティを国民に伝える

・HP(ウェブ、モバイル)



(ソーシャルメディア)

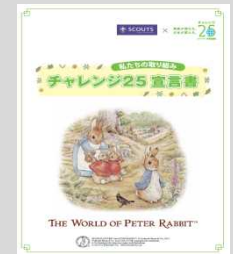
・啓発ツール(DVD、冊子など)



・NPO等の団体と連携



(ボーイスカウト地球温暖化防止宣言)



①クールビズ・スーパークールビズ

- ・冷房時の室温28℃でも快適に過ごせるライフスタイルの提案
- ・平成23年度はクールビズをさらに進化させ、さらに新たなライフスタイルを提案



(SUPER COOLBIZポスター)

②ウォームビズ

- ・暖房時の室温を20℃に設定しても快適に過ごせるライフスタイルの提案

WARMBIZ



(あったか忍者【あつた丸】)



(チラシ及びポスター)

③朝チャレ！(朝型生活にチャレンジ)

- ・CO2を削減する朝の新たなライフスタイルの提案



(朝チャレ！HPイメージ)